



伊予農高生が中心となり開催されたひまわり祭りでは、ぐんちゅう保育所の園児たちによる和太鼓の演奏や踊り、伊予農高吹奏楽部による演奏が披露されました。また、協議会の団体によるバザーなどが行われ、地域密着型のイベントとなりました。

会場では、ひまわりの種から油を搾り出す手動搾油機の体験や、BDFで動く車両（コンバイン）を伊予農高生が自らの手で改良したもの（の乗車体験）などができ、来場者に、伊予農高バイオディーゼル燃料研究グループの取り組みをPRしていました。



伊予地区ひまわりプロジェクト連絡協議会長の石原直満伊予農高校長は、「二酸化炭素を吸収して育ち、栽培すれば何度でも再生することができ、ひまわりからバイオ燃料をつくれれば、環境にやさしい循環型社会となります。また、市内の遊休農地にひまわりが植え付けられると、地域の景観もよくなり、地域が活性化されます。

伊予農高生の若い力と、地域がひとつになって開催されたこのプロジェクトによって、皆さんが環境問題を考えるきっかけになれば、この取り組みに期待をしています。

地球温暖化防止に向けて1人ひとりができること

～温暖化の原因である二酸化炭素を削減しよう！～



○温度調節で減らそう
冷房の設定温度は28℃、暖房時の室温は20℃にしよう



○水道の使い方で減らそう
蛇口はこまめに締めよう



○自動車の乗り方で減らそう
エコドライブをしよう



○商品の選び方で減らそう
エコ製品を選んで買おう



○買い物とごみで減らそう
過剰包装を断ろう



○電気の使い方で減らそう
コンセントをこまめに抜こう



ひまわりのたねからバイオ燃料をー！

「第3回ひまわり祭り」伊予地区ひまわりプロジェクト連絡協議会の取り組み

7月8日、下二谷で、伊予地区ひまわりプロジェクト連絡協議会が主催する『第3回ひまわり祭り』が開催されました。

伊予地区ひまわりプロジェクト連絡協議会

伊予農業高等学校以下「伊予農高」が中心となり、上吾川老人クラブ・ぐんちゅう保育所・生活研究グループ・JAえひめ中央・愛媛県・伊予市など多くの関係団体が集まり、循環型社会の構築、遊休農地の解消、景観形成による地域づくりなどを目的に平成17年に結成されました。

4,000㎡の休耕田を

活用したひまわり畑
伊予農高は、上吾川の休耕田約4,000㎡を活用し、ひまわり（ハイブリッドサンフラワー）1万本を栽培しています。ひまわりの苗を植える際には、上吾川老人クラブの方やぐんちゅう保育所の園児

らが協力し、伊予農高2年生200人が1年間を通して栽培をしています。

バイオディーゼル燃料(BDF)
伊予農高バイオディーゼル燃料研究グループは、栽培したひまわりの種からBDFを精製する研究を行っています。

BDFとは、石油・石炭などの化石燃料とは違い、サトウキビや菜種、木材などを原料とした「再生可能なエネルギー」です。二酸化炭素の排出を抑え、地球温暖化防止への役割が期待されています。

地球温暖化により、地球の平均気温は、20世紀の間に約0.6度上昇したことが明らかになっています。

皆さんも伊予地区ひまわりプロジェクト連絡協議会の方のように、一人ひとりができる地球温暖化防止について心掛けてみませんか。